

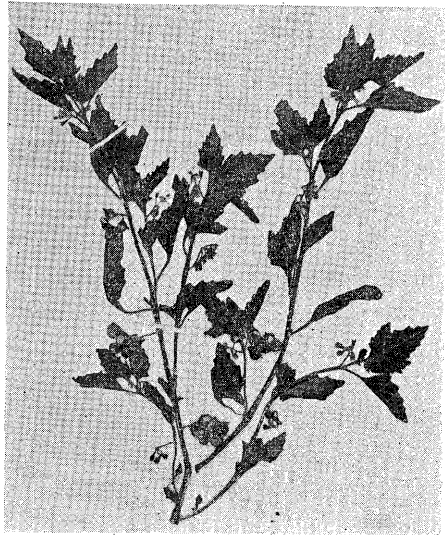
終にこの採集に色々と援助を与えて下さった幾瀬マサ, 黒沢幸子, 藤井竜之介, 金井弘夫の諸氏に深く感謝する。

### 文 献

- 1) 猪熊泰三: 秩父演習林及其附近の木本植物. 東大農学部演習林報告 **14**: 1-131 (1931) 同追録 I. 同上 **20**: 189-206 (1934). 2) 伊藤洋・靱山泰一・志村辰夫: 奥秩父高等植物目録. 秩父自然科学博物館研究報告 **2**: 1-23 (1950). 伊藤洋: 秩父多摩国立公園高等植物目録 (I). 同上 **4**: 19-50 (1953). 3) 本田正次: 秩父多摩国立公園の植物 1-42 (1954). 4) 松山庫三: 雲取山へのぼる. 野草 **16**, No. 136 (1950).

### ○ケイヌホオズキ (浅井康宏) Yasuhiro ASAI: A new naturalized weed, *Solanum sarrachoides* Sendt.

1950年6月, 神奈川県鶴沼の荒蕪地で全株白軟毛を被り少々横臥し, 葉縁が波状に浅裂するイヌホオズキに近似の一品を得たが, これが *Solanum sarrachoides* Sendtner in Mart. Fl. Bras. **10**: 18, pl. 1, figs. 9-12 (1846); L. Abrams, Illust. Fl. Pac. St. **3**: 676, f. 4492 (1950); Fernald, Gray's Man. Bot. ed. 8, 1254 (1950) であることがわかった。その後, 本種は見かけないが, 相当強壯な雑草の様に見受けられ, 当時(6月)すでに未熟の球形の果実を房状につけていた。一年草で草丈30cm許, 多少分岐し, 花は白色で5-6個を繖状につける。全株(花卉及萼も)開出毛を密生するため白つぼく見える。なお, 萼は花後稍果実を包む性質があり, この点他の近似種との区別点ともなっている。



文献に依れば南米(ブラジル)の原産で北米に滞化(太平洋岸)している由であるから, 多分北米よりの渡来品であろうと思われる。又東大理学部の腊葉庫に本種と思われる故松崎直枝氏の標本(昭和22年5月23日北米産グリーンピース中に混入—1946.7.31—と名箋に記されている)が一枚所蔵されて居るので参考迄に附記しておく。なお, 和名は平凡ではあるが, 白軟毛を被る点と米名 Hairy nightshade に因みケイヌホオズキ(新称)としたいと思う。終りに種々御教示を賜った国立科学博物館奥山春季先生, 東大腊葉庫の標本閲覧その他種々御世話下さった原寛先生にここに厚く御礼申し上げる次第である。